

Economic Information

経済情報さっぽろ

2013.December **12**月号 No.166



北海道産食品輸出商談会 IN バンコク 開催!!

札幌市では、JETRO北海道などと共催で、11月4日にタイ・バンコクにおいて、「北海道産食品輸出商談会」を開催し、札幌・北海道の企業・団体17社が参加しました。直行便就航などによりタイ・バンコクにおける北海道人気は高まっており、現地バイヤーが100名以上来場し、活気ある商談が多数行われました。

参加企業様からは、思った以上の手ごたえがあったとの声が多く聞かれ、今後のタイ・バンコク市場への北海道産食品の輸出拡大が期待されるそうです。

CONTENTS

北海道産食品輸出商談会 IN バンコク 開催!!	1
札幌市中小企業融資制度のご案内	2
情報BOX	3~5
札幌スタイル認証製品を紹介します。	6
がんばれ!!札幌の企業 (第16回)	7
スタートアップ・プロジェクトルーム入居企業紹介③	7
データで見る! さっぽろ経済の動き	8
中小企業経営セミナー	8

札幌市中小企業融資制度のご案内

札幌市では、中小企業者の皆さまが、事業経営に必要とする資金を円滑に調達していただくために、各種融資制度を設けています。

●一般中小企業振興資金（マル札資金）

資金名	融資対象	融資限度額	融資期間	融資利率	担保	保証人	信用保証
産業振興資金	市内中小企業者等	2億円	運転7年 設備12年	年2.0%以内	必要に応じて要	原則として不要（法人は代表者のみ）	必要に応じて要
短期サポート特別枠	融資期間が1年以内の短期運転資金を必要とする市内中小企業者等	5,000万円	1年	年1.7%以内			
札幌みらい資金	「食」「観光」「環境」「健康・福祉」に関連する市内中小企業者等	2億円	運転7年 設備15年	年1.5%以内	原則として無担保		保証付
小規模事業資金	市内小規模事業者等	1,500万円	7年	年1.0%以内			
小口資金	「小口零細企業保証制度」の対象となる小規模企業者	1,250万円	10年	年1.3%以内	必要に応じて要		札幌市が信用保証料の1/4を補給
景気対策支援資金	中小企業信用保険法第2条第5項各号に基づく認定（セーフティネット認定）を受けた中小企業者等	5,000万円	10年	5年:年1.3%以内 10年:年1.5%以内			
経営力強化支援資金	「経営力強化保証制度」の対象となる中小企業者等	5,000万円	運転5年 設備7年	年1.5%以内			

●特別資金

資金名	融資対象	融資限度額	融資期間	融資利率	担保	保証人	信用保証
創業・雇用創出支援資金	次のいずれかに該当する中小企業者等 (1)市内で創業する者及び創業後5年未満の者 (2)融資申請日前6カ月以内に、新たに常用従業員を1名以上雇用の創出を行った者	5,000万円 【注1】	10年	年1.1%以内	必要に応じて要	原則として不要（法人は代表者のみ）	必要に応じて要
事業革新支援資金	次のいずれかに該当する中小企業者等 (1)新規性、技術性又は独創性を有する事業に取り組む者 (2)成長の見込まれる新分野への進出を目指す者 (3)商店街の活性化に資する事業に取り組む者	2億円	運転7年 設備15年				
大型設備投資支援資金	設備投資額が5千万円以上の大型の施設等を設置若しくは増改築又は機械設備等の購入を行う中小企業者等	5億円	設備15年 流通団地・工業団地内は20年				

【注1】 ただし、創業する者（創業から3カ月以内を含む）は、必要額の7割以内となります。

※金融機関及び信用保証協会の審査の結果によってはご希望の融資を受けられない場合があります。

●受付機関

北洋銀行、北海道銀行、北陸銀行、青森銀行、みちのく銀行、秋田銀行、七十七銀行、第四銀行、札幌信用金庫、室蘭信用金庫、空知信用金庫、苫小牧信用金庫、北門信用金庫、北空知信用金庫、日高信用金庫、小樽信用金庫、北海信用金庫、旭川信用金庫、稚内信用金庫、留萌信用金庫、北星信用金庫、遠軽信用金庫、北央信用組合、札幌中央信用組合、空知商工信用組合、商工組合中央金庫 ※いずれも札幌市内の各店舗
ただし、「創業・雇用創出支援資金」については下記の札幌中小企業支援センター

●融資に関するご相談
札幌中小企業支援センター [（一財）さっぽろ産業振興財団]
〒060-0001
札幌市中央区北1条西2丁目北海道経済センタービル2階
電話：011-200-5511 FAX：011-200-4477

情報BOX

北海道の最低賃金が改定されました！！

北海道内で事業を営む使用者及びその事業所で働くすべての労働者（臨時・パートタイマー・アルバイト等を含む）に適用される北海道最低賃金（地域別）が次のように改定されます。

最低賃金額
効力発生日

時間額 734円
平成 25 年 10 月 18 日

- 最低賃金には、精皆手当、通勤手当、家族手当、臨時に支払われる賃金及び時間外等割増賃金は算入されません。
- 最低賃金額以上の賃金を支払わない場合は、最低賃金法違反として処罰されることがあります。
- 特定の産業（「処理牛乳・乳飲料、乳製品、糖類製造業」、「鉄鋼業」、「電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業」、「船舶製造・修理業、船体ブロック製造業」）の労働者には北海道の産業別最低賃金が適用されます。

【お問い合わせ先】 厚生労働省北海道労働局 電話:011-709-2311

インタークロス・クリエイティブ・センター 事業紹介 ～ さっぽろムービースケッチ2013～

インタークロス・クリエイティブ・センター（ICC）では、映像制作に係る方の人材育成とコンテンツ産業振興のための事業として、「場所にはストーリーがある」をコンセプトに「さっぽろムービースケッチ」という映像制作のワークショップを行ってきました。

今回は、シナリオの元になる場所のエピソードを公募。ワークショップに参加する監督たちがそのエピソードから映画のシナリオを作成し、そのシナリオの中から審査を経て選ばれた2～3作品を映画化します。

この事業により、地域の資源・魅力の再発見と、その映画化により、コンテンツ産業の振興と、映像制作に係る方の人材育成につなげていきます。

また、映画化することで、自分たちの住んでいる場所を再認識し、その物語を広めることで、シティプロモーションの役割も期待できます。なお、制作する映画には、英語字幕をつけ、札幌国際短編映画祭をはじめとした、世界の国際短編映画祭への出品を検討します。



<エピソードと映像化の例>

札幌でも有名な時計台。その時計台の鐘を鋳造する職人がいた。彼の婚約者はある日、交通事故で突然亡くなってしまった。職人の彼は、彼女との結婚を約束した指輪をその時計台の鐘に放り込み溶かした。

（時計台に本物の指輪が溶け込んでいるというエピソードを元に、短編映画として脚色し、映画化。さっぽろムービースケッチ2006「Plus 0.9」より）

今年度のエピソードの公募は終了しましたが、ICCでは引き続き札幌市内の知られざるエピソードを持つ場所の情報をお待ちしています。

【お問い合わせ先】

インタークロス・クリエイティブ・センター 電話:011-817-8911

経済局産業振興部ものづくり産業課 電話:011-211-2379

ICCホームページ <http://www.icc-jp.com/ja/>

さっぽろムービースケッチフェイスブックページ <https://www.facebook.com/movie.sketch>

人事・人材育成担当者対象 5分から始める若手社員指導力強化研修

事業内容	・若手社員の行動について ・パワハラ・セクハラとは ・課題解決研修
日時	平成26年2月4日(火曜日)、5日(水曜日) ※両日とも午前9時30分～午後5時30分
会場	ヒューマンアカデミー札幌校サテライト教室 札幌市中央区北4条西4丁目 札幌国際ビル5階 ・JR「札幌駅」下車5分、地下鉄「さっぽろ駅」下車3分
定員	30名
対象者	人事・人材育成担当者及び管理者の方など
費用	無料
申込期限	平成26年1月28日(火曜日)必着

若手社員、人事・人材育成担当者対象 活力あるチームワーク向上研修

事業内容	・良いチームの作り方(相互理解、課題解決) ・チームで発揮できる効果 ・目標設定とその実現方法 など
日時	平成26年2月18日(火曜日)、19日(水曜日) ※両日とも午前9時30分～午後5時30分
会場	ヒューマンアカデミー札幌校サテライト教室 札幌市中央区北4条西4丁目 札幌国際ビル5階 ・JR「札幌駅」下車5分、地下鉄「さっぽろ駅」下車3分
定員	30名
対象者	入社おおよそ3年以内の若手社員、人事・人材育成担当者及び管理者の方など
費用	無料
申込期限	平成26年2月10日(月曜日)必着

申込方法は2研修とも共通ですが、「若手社員、人事・人材育成担当者対象 活力あるチームワーク向上研修」については、(6)若手社員又は人事・人材育成担当者の別を申込必要事項にご記入ください。

申込方法	<p>受講希望の方は、下記の必要事項を記入して、FAXまたは郵送でお申し込みください。電話・Eメールでもお申し込みいただけます。 なお、応募者多数時は抽選となり、ご希望に添えない場合もございますのであらかじめご承知おきください。</p> <p>■申込必要事項 (1)参加者氏名(フリガナ)・所属・在職年数・年齢 (2)勤務先 (3)勤務先所在地(郵便番号) (4)申込担当者氏名(参加者と申込担当者が異なる場合のみ) (5)電話番号、FAX番号、Eメールアドレス</p> <p>●宛先 ヒューマンアカデミー札幌校(担当 嶋本(しまもと)、八田(はった)) 〒060-0003 札幌市中央区北3条西2丁目 NC北専北三条ビル5階 電話:0120-15-4149 FAX:011-222-1197 Eメール seminar-s@athuman.com</p>
主催	札幌市
実施運営	ヒューマンアカデミー(株)札幌校

障がいのある方や高齢者の方の雇用にご理解を!

厚生労働省では、障がいのある方や高齢者の方の雇用促進に取り組んでいます。障害者雇用促進法により義務付けられている障害者雇用率が4月から引き上げられ、また、4月に施行された改正高齢者雇用安定法では65歳までの雇用確保措置を講じることが義務付けられています。

障がいのある方や高齢者の方を雇用する事業主の方々に対する各種支援制度があります。詳細については、最寄りのハローワークまたは北海道労働局へお問い合わせください。

【お問い合わせ先】 厚生労働省北海道労働局職業安定部職業対策課 電話:011-709-2311
障害担当(内線3684)または高齢担当(内線3683)

個別的労使紛争あっせん制度で労働トラブルの解決を支援します

北海道労働委員会では専門のあっせん員が、使用者と労働者個人の間で発生した労働条件や解雇などに関する労働紛争の解決に向け、お手伝いします。

利用は無料で当事者のプライバシーは厳守します。どうぞお気軽にご利用ください。

あっせん

北海道労働委員会事務局個別調整課（電話:011-204-5667）
月～金曜日：午前8時45分～午後5時30分（祝日、年末年始を除く）

労働相談

労働相談ホットライン（電話:0120-81-6105）
月～金曜日：正午～午後8時（祝日、年末年始を除く）

さっぽろソーシャルビジネス・カフェ

社会貢献をビジネスにする。

そんな新しい生き方をする人を社会起業家と呼びます。

北海道で活躍する社会起業家をお招きし、その生き方、経営、北海道への想いを参加者と共に語り合う2時間。新しい生き方やビジネスに関心を持つ市民の皆さまの参加をお待ちしています。（札幌学院大学と札幌市経済局の共催）

ゲスト	三原 孝義（株）ふるさとファーム代表取締役社長
内容	「ITから農業へ華麗なる転身!?のはずが…」 農業の経験も知識もまったくないIT企業の元経営者が、あこがれだけで始めた農業参入。就農して3年が経ち、ひとつおりの現実と直面した後、農業と若者の就労支援の新展開に踏み出すまでの奮闘記。
会場	札幌学院大学社会連携センター（札幌市中央区大通西6丁目）
日時	12月18日（水）18時～20時
対象者	起業に関心のある方
定員	10名程度
費用	無料

【お申込み】

※12月2日（月）より、お電話にてお申し込みください。
札幌学院大学社会連携センター（札幌市中央区大通西6丁目）
電話：011-280-1581

さっぽろ学生ITアイデアコンテスト2013を開催しました！

子どものころからインターネットなどのITに慣れ親しんでいる学生から、ITを活用した新しい製品やサービスのアイデアを募集するコンテストを開催しました。コンテストには全部で55アイデアの応募があり、市内IT企業による公開プレゼンテーション審査を経て、下記のとおり、最優秀賞、優秀賞が決定しました。



【最優秀賞】 Delipper 北海道大学大学院 中西 亮太

○アイデアの概要

“今日の晩ご飯、何にしよう？”に答えてくれる、献立推薦webサービス。
毎日の料理の写真を撮影することで、ユーザーの好む料理または献立のローテーションを分析し、推薦可能。ネットスーパーともリンクし、必要な食材を1-clickで購入することができる。

【優秀賞】

- ・「パーソナルな端末とバス停の連携でバスの利用をもっと便利に～SAPPORO BUS 1～」 札幌市立大学 垂水 浩貴
- ・ポロネタリウム 総合学園ヒューマンアカデミー札幌校 葛西 慎太郎グループ
- ・勝手に探譜君 北海道工業大学 渡部 大輝
- ・ぶらりさっぽろアートMAP 札幌市立大学 齊藤 美雪
- ・「1日1円募金」 北海学園大学 佐々木 健乃



【お問い合わせ先】

札幌市経済局産業振興部ものづくり産業課
電話：011-211-2379




札幌スタイル認証製品を紹介します。 スノーボールキャンドル



火を灯せば、磁器の器からうっすら光が漏れて美しいキャンドル。ほのかに蜜蝋が香ります。
キャンドルとして使用した後は、器を花瓶として使用することもできます。

販売元	島田知子 (po-to-bo)
価格	2,100 円
買える場所	札幌スタイルショップ (北5西2 JR タワーイースト 6階展望室入口) 等で 好評発売中。



「札幌スタイル」とは
「札幌スタイル」とは、札幌市が認証している地域ブランドです。札幌の暮らしから生み出された札幌らしい製品を認証し、市内企業のものづくりを支援しています。
詳細は、札幌スタイル公式ホームページをご覧ください。
<http://www.sapporostyle.jp/>

タイ・バンコクで最大級の北海道物産展開催！

10月16日からタイ・バンコクで、「北海道フェアinバンコク」～TASTE OF JAPANを開催しました。タイ最大手のデパートであるセントラルグループ・ワールド店とチットロム店の2会場で、道内企業19社、約80アイテムが出店し実演販売等により北海道の食をPRしました。

主催は、北海道貿易物産振興会、北海道、札幌市、札幌商工会議所、アジアにおける札幌の物産と観光フェア実行委員会（札幌市、札幌物産協会、札幌商工会議所、札幌観光協会、さっぽろ産業振興財団等で構成）で、特別協賛として北洋銀行が参画しました。

セントラルグループ・ワールド店の7階特設会場では盛大にオープニングセレモニーが開催され、セントラルグループ関係者のほか、日本からも、北海道貿易物産振興会の滝沢会長をはじめ山谷北海道副知事、生島札幌市副市長、アジアにおける札幌の物産と観光フェア実行委員会の池田会長、さっぽろ産業振興財団の福井専務理事、北洋銀行の石井頭取などが参加しました。

また、アトラクションとして、今年のよさこいソーラン優勝チームである北海学園大学の「粋〜IKI」が華麗な舞いを披露し、大いに会場を盛り上げました。

フェアは29日まで14日間開催されましたが、チットロム店で実演販売を行った出展企業からは、「来場者からの引き合いも多く、フェア期間中に品切れとなりそうな勢いだったので、商品のブース展示数を制限した。」「食べてみて美味しかったのでまた買いに来た、と言ってくれたお客さんが多かった。」との声が聞かれるなど、非常に好評でした。



タイには、セントラルデパートのほか、伊勢丹、イオンなど日系企業も進出しており、定期的に日本食フェアなどが開催されていますが、今回の「北海道フェアinバンコク」～TASTE OF JAPANは、北海道物産展としては最大級の規模とのことでした。

タイ国内には既に1,800店舗以上の日本食レストランが展開されていますが、例えばコメは、日本から持ってくるのと関税もかかるので、「きたこまち」など日本品種をタイに持ち込んで生産したものが使われている例が多いとのことでした。

ここまで日本食レストランが流行っているのも、現地産のものを使い価格を抑えているいろいろなメニューを提供していることが背景に

あると考えられます。
また、タイのコンビニ事情としては、セブンイレブンは既に7,000店舗を超えており、ファミリーマートも700店舗以上、最近ではローソンも出店しているとのことで、日本人にとっても馴染みやすい環境がそろっています。

現地の方からも、「タイ人はもともと日本人が好き、日本食も好き。北海道・札幌というだけで信用できる面がある。他の国なら国の紹介から始めなければならないが、日本のことはもともとよく知っている。自分もドラえもん、タイガーマスクなど日本のアニメを見て育った世代」との話がありました。

タイでは、「北海道」は完全にブランドとなっており、北海道という言葉と比べると「札幌」の知名度はまだ低いものの、東京、北海道に次いで、日本の知名度の中では、札幌の知名度は高い方とのことでした。



タイの表玄関であるスワンナプーム空港とバンコク市内を結ぶA R L（エアポートレイルリンク）で、札幌発のキャラクター「初音ミク」のラッピング列車を走らせており、列車内全ての広告を札幌観光PRに使用しているが、好評のため、9月15日までの予定が11月15日まで延長されたところです。

タイから札幌への宿泊者数は、21年の約7,000名から24年では約27,000名と大幅に増加しており、千歳直行便も10月から毎日運行となるなど、今後ますますタイとの関係は深まっていくことが予想されます。



タイ人は、「美味しいものを食べたい」、「たくさん買い物をしたい」に加え、意外なことに「冬・雪」に対する憧れが強いとのことでした。北海道・札幌は、アジアの中でもその全てを有している数少ない地域であり、今後の経済発展、観光推進のためにも、その魅力・強みを前面に出して、タイをはじめアジアの国々との交流が深まることを期待しています。

がんばれ!! 札幌の企業

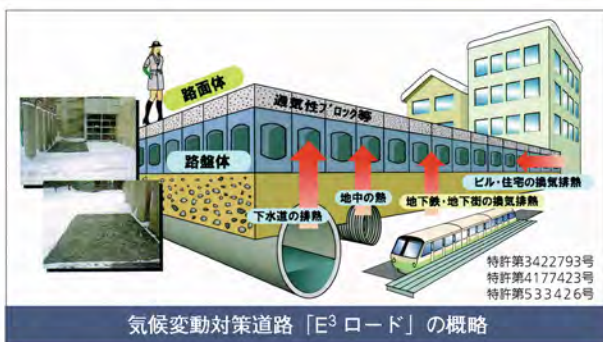
第16回 株式会社 ホクスイ設計コンサル

代表取締役社長 高野 義昭

住所: 札幌市北区北6条西9丁目2番地

電話: 011-737-6232

HP: <http://www.hokusui-p.com/>



気候変動対策道路「E³ロード」の概略

株式会社ホクスイ設計コンサルは、札幌を拠点に、道の上下水道や河川、道路や橋梁などの土木設計・コンサルティンクを中心とした事業を行っている企業です。

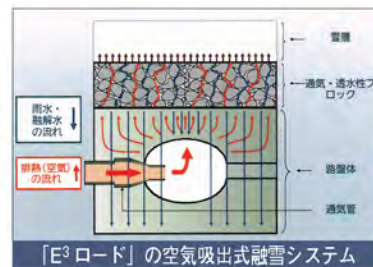
会社を創業された昭和56年当時、現在ほど環境問題がクローズアップされていない頃から、気候変動など地球を取り巻く自然環境との調和をテーマにした製品を研究してきました。実際に製品化された中で、特に「E³ロード」は、融雪や大雨、さらに暑熱対策までを兼ね備えた道路として、北海道開発センターや北海道及び札幌市などからの各賞を受賞し、また、平成24年度札幌市「札幌発の環境産業創出事業」による委託研究を実施するなど、注目が集まっています。

「E³ロード」で融雪・洪水・暑熱対策を推進し、都市部の気候変動に対応。

「E³ロード」は、路面の下に路盤体と呼ばれる特殊なブロックを埋め込み、この路盤体が、地熱をはじめ、下水道の廃熱やビル・住宅の廃熱・地下鉄や地下街の廃熱などを利用、24時間空気を送風させ、凍結・積雪させない温度を保つというもので、ロードヒーティングとほぼ同じ融雪が可能だそうです。また、路面から雨などの水を一時的にためておくこともでき、洪水や暑熱対策などにも有効です。

また、熱自体は再利用のため、ランニングコストがかからないのが大きな特長です。

「一般住宅や都市生活圏などへ普及すると、高齢者や弱者の方々が冬でも自由に生活しやすくなる」と高野社長。今後は自治体などへも協力を求め、普及を推進していきたいとのことです。



「E³ロード」の空気吸出式融雪システム

スタートアップ・プロジェクトルーム入居企業紹介 35

株式会社メディアプラネット

「広告代理業から第2の創業。道産野菜の素晴らしさを皆さまに知っていただくために」

株式会社メディアプラネットは、2008年12月に代表者の伊藤氏が「もっと顧客に寄り添う、顧客のための広告代理業を」という思いで、社員2名と計3名でスタートしました。当時は、名前も知られていない企業だったため、必死に飛び込み営業を行い、徐々に顧客も増え始めた矢先、2011年3月11日の東日本大震災が起きました。一生懸命獲得した顧客は、広告自粛ムードになり、改めて自分の商売を考え直すきっかけになったとのことです。そんなとき、「どんなときでも人々に必要とされる“食”をテーマにした商売を始めたい」という想いから、第2の創業として“道産野菜の通信販売サイト ほくほくマーケット”を立ち上げるに至ったのです。

代表の伊藤氏は、東京で上場企業の企画広報部署に勤めた後、北海道の地場最大手の広告代理店にて10年間営業として広告業に携わってきました。自分の力を最大限に生かしてみたい、という想いのもと知人と共同経営を経たのち、札幌市で独立。経営者としてやるべきことに追われながら、試行錯誤を繰り返し、顧客のために考える毎日を送っています。



同社の業務内容は「デザイン、広告、ホームページ制作」などをメインに、これまで培った広告代理業のノウハウを生かし、老舗の八百屋と提携して、仕入れから品質管理まで行いながら“ほくほくマーケット”を運営しています。

今後、同社の事業展開としては、「“ほくほくマーケット”の商品アイテムを増やすとともに、よりお客様が購入しやすいシステムを構築することをコンセプトに、道産野菜を全国に広めるための仕組みづくりを考えていきたい」とのことです。

伊藤氏から最後に次のメッセージで締めくくっていただきました。「北海道はこれから少子高齢化や人口減に伴い、あらゆる地域・市場でとても厳しい状況になっていくと思われまます。そこで北海道の最大の魅力である「食」に関して今まで出会った方々のお力を借り、また学んできたことを活用して、新しい仕組みを考え創造し、北海道へ貢献できる企業を目指してまいります」。



株式会社メディアプラネット

代表取締役 伊藤 靖記

〒003-0005

札幌市白石区東札幌5条1丁目1番1号

札幌市産業振興センター3階

電話:011-833-1297 FAX:011-833-1299

HP:<http://media-p.jp>

「ほくほくマーケット」<https://hokuhokumarket.com>



スタートアップ・プロジェクトルームとは？

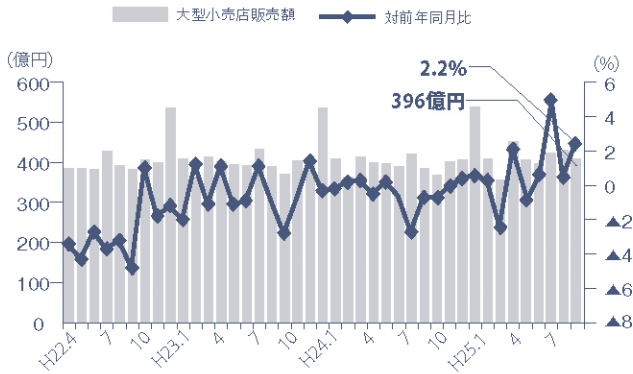
札幌市産業振興センターの3Fに設置しているインキュベーション（起業支援）施設です。新たな技術やビジネスモデルを持つ意欲あふれる個人や中小企業を対象に低廉な費用で部屋を提供するとともに、さまざまな支援策により企業の成長をバックアップします。入居企業は年に4回募集しています。詳しくは産業振興センターへお問い合わせください。（8ページ参照）

データで見る！さっぽろ経済の動き

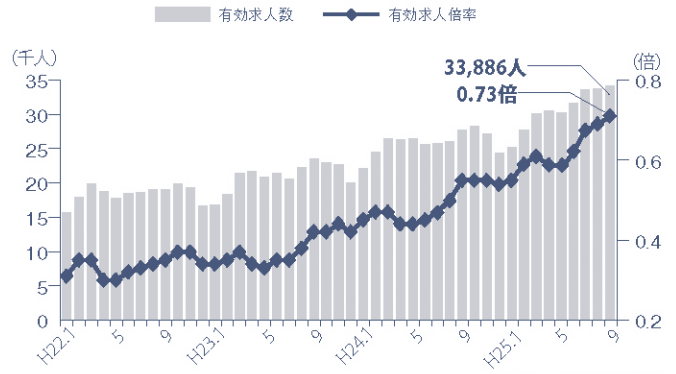
統計データの一部から最近の札幌経済の動きをご紹介します

最近の札幌経済は、個人消費において消費者マインド改善による持ち直しの動きが続いているほか、雇用情勢や観光客数で持ち直しているなど、全体としては、緩やかに持ち直しています。

【大型小売店販売額推移（札幌市）】



【求人数・有効求人倍率（札幌圏）】



その他、統計情報について詳しくは、札幌市経済局ホームページ「データで見る！さっぽろ経済の動き」をご覧ください。
<http://www.city.sapporo.jp/keizai/top/jyouthou/data/index.html>

データで見る！
さっぽろ経済の動き

中小企業経営セミナー

産業振興センターの
中小企業経営セミナーを
ご利用ください。

ホームページ (<http://seminar.sapporosansin.jp>) からもお申し込みできます。

2014年1月中小企業経営セミナー（受付中）

コース	内容	実施日	時間	定員	受講料
課題解決シリーズPart I 課題解決で真価を發揮！ビジネスマッピング講座	課題解決にも真価を發揮できるオールインワンスキル・ビジネスマッピング。明日から使える必須の手法。多種多様の活用方法を学び一生役立つスキルを理解して頂きます。	1月15日（水）	9:30~16:30	36名	5,000円
経理を知らなくてもわかる！ 『決算書の読み方、活かし方』	必要となる数字を身近なものとして感じて頂き、重要な経営数字をどのように読み取って活かせるのか、わかりやすく解説し、使える知識を目指します。	1月16日（木）	9:30~16:30	36名	5,000円
組織を強化する！ 『管理職スキルアップ集中講座』	最大の経営資源である「ひと」に焦点を当て、強い組織を創るのに欠かせない管理職が職場で必要となるマネジメントの知識・能力を、「問題解決力」「リーダーシップ」を中心に学びます。	1月22日（水）	9:30~16:30	36名	5,000円

2014年2月中小企業経営セミナー（12月11日午前9:00より受付）

コース	内容	実施日	時間	定員	受講料
お客様満足徹底追求！ CSパワーアップセミナー	今以上の高い評価を得てお客様に選ばれるのは何かを追求し、顧客満足が自社の強みに変えるノウハウを学びます。	2月4日（火）	9:30~16:30	36名	5,000円
課題解決シリーズPart II 「プレイクスルー思考」とは！ 「課題解決力」養成講座	普通の生活の中でも、大なり小なり誰もが抱えている問題！そんな悩みをプレイクスルー思考による発想の転換により、自分の力で解決に導く手法を学びます。	2月6日（木）	9:30~16:30	36名	5,000円
トラブル対応に強くなれ！ 労務管理スペシャリスト育成講座	労使の利害対立をいかに真摯に調整できるか、トラブル未然防止に力を發揮できるスペシャリストへの道！	2月13日（木）	13:30~16:30	36名	3,000円
さっぽろソーシャルビジネス起業塾	地域社会に密着したソーシャルビジネスを実際に実践している事例を交えて、成功モデルを学びます。	2月18日（火） ~3月5日（水） 全5日間	18:30~21:00	30名	8,000円
文章力強化！「ロジカルライティング」開発講座 （PC活用）	自分自身では気づかない悪文を説得力のある簡潔な文章作成手法を身につけ、そして、相手に論理的に伝わり、人の心に響く文章が書けるように演習を行いながら学びます。	2月19日（水）	9:30~16:30	20名	5,000円
明日から1人前！『営業力強化』研修	自己流になっている営業のやり方を見直し、お客様との信頼関係を強化するヒントを学びます。	2月21日（金）	9:30~16:30	36名	5,000円
第16回創業・独立開業希望者支援セミナー （夜間コース）	【起業のあいうえお】～経営者としての準備～	2月25日（火）	18:30~21:00	20名	2,000円
第17回創業・独立開業希望者支援セミナー （夜間コース）	【開業時の売上&顧客獲得手法】～セールスプロモーション～	2月27日（木）	18:30~21:00	20名	2,000円

2014年起業・開業希望者向けセミナー（12月11日午前9:00より受付）

コース	内容	実施日	時間	定員	受講料
H25年度第④期『さっぽろ起業道場』 （土曜コース・全4日間）	学んだ中で事業計画書を作成し、発表しあう事での切磋琢磨や情報交換も魅力的です。	1月18日（土） 25日（土） 2月8日（土） 15日（土）	9:30~15:30	16名程度	12,000円

【お申し込み先】 札幌市産業振興センター
 札幌市白石区東札幌5条1丁目1-1 地下鉄東西線 東札幌駅1番出口徒歩7分
 電話：011-820-3122 FAX：011-820-3220 <http://www.sapporosansin.jp>

平成25年11月20日発行

印刷（株）サンコー